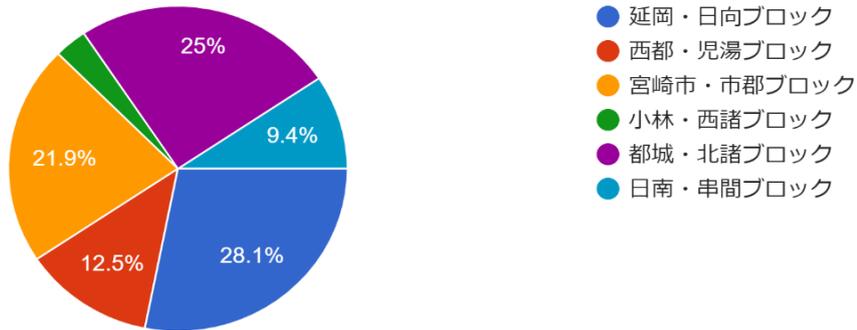


令和3年度「認知症OTステップアップ研修」アンケート結果

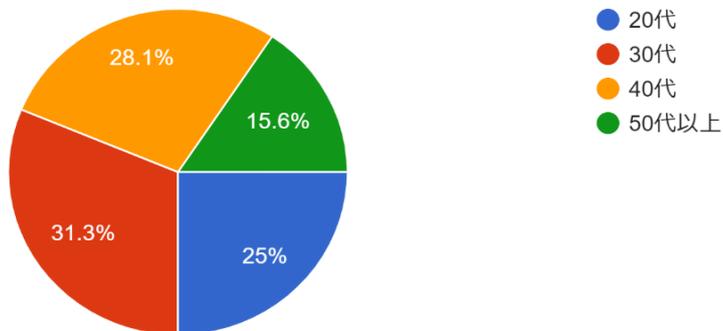
①所属ブロック

32件の回答



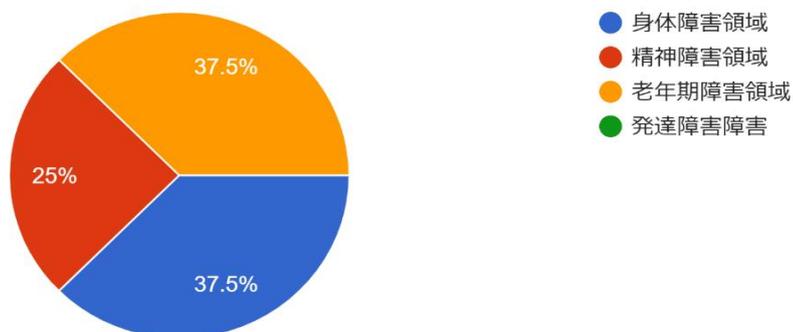
②年齢

32件の回答



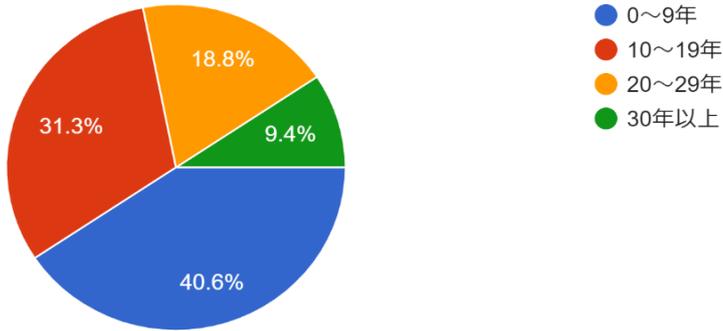
③所属領域

32件の回答



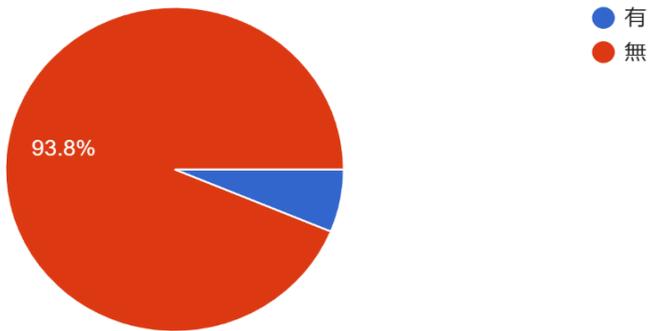
④経験年数

32件の回答



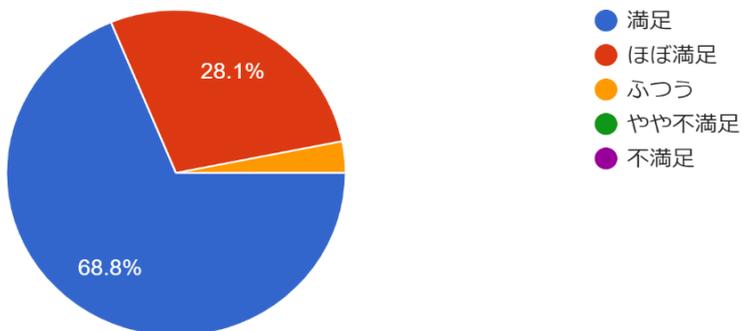
⑤認定OT資格の有無

32件の回答



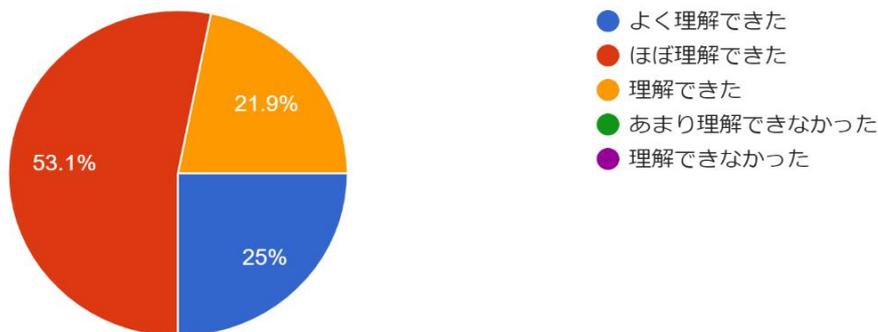
⑥今回の研修内容について

32件の回答



⑦研修内容の理解度

32件の回答



⑧本日の研修に関する感想やご意見などをお書きください

- ・ 接続の関係で前半聞けなかった部分があり、残念でしたが、興味深く聞かせていただきました。
- ・ エビデンスに基づいた内容でよく理解できました。面白かったです。内容が多くてゆっくりと資料を見返します。また、教えてください。ありがとうございました。
- ・ 大変参考になりました
- ・ MMSEの点数改善ではないアプローチの大切さを実感しました。
- ・ 初めてウェブでの研修に参加しました。ありがとうございました。
- ・ 生活の中での、活動分析勉強になりました。研究している内容の分析も理解できました。
- ・ 認知症に対する全体的な考え方を整理することができました。評価も様々なものを利用しながら、工程分析評価はOTとして重要であることを再認識しました。
- ・ 貴重な講義をありがとうございました。作業療法NOVA(18)にPADA-Dの活用について掲載されており、気になっていたのが勉強になりました。工程分析がより深掘され明確化されやすいこと、多職種と共有しやすい面では使用しやすいツールだと感じました。
- ・ 本日は、貴重なご講義、お時間を頂きありがとうございました。PADA-Dを活用させて頂き支援に生かしたいと思います。
- ・ 生活行為工程分析表を用いて、患者さんの評価や介入方法を臨床でも活かしてみたいと思います。貴重な講義・資料ありがとうございました。
- ・ デイサービスに勤務しております。介護要員の業務が多く、評価時間をはじめ、やはり個別対応時間確保が難しい環境です。だからこそ具体的なADLTトレーニングのために介護職との連携が必要なのですが、しっかりとした工程ごとの評価が必要だと改めて感じました。3月の多職種連携の研修会、参加したいと思いました。
- ・ 様々なフレイルの種類や認知症リハビリテーションについてとても勉強になった。OTは、疾患ではなく暮らしにくさを予防するという言葉が印象に残った。生活行為の工程分析としてPADA-Dを今後の臨床で活用していきたいと思った。
- ・ 難しい資料かと思ってみても、解説が分かりやすく、楽しい講義でした。工程分析を使用してみたからの介入事例もあり、ありがたかったです。他の項目も聞いてみたいです。
- ・ 社会的フレイルという概念について勉強出来ました。

- ・生活行為をより細かく工程分析されている為、一連の動作のどの工程が困難となっているかが非常に分かりやすかったです。回復期病棟に勤務しているのですが、患者様の退院を見据えてIADL訓練に活用していきたいと思います。
- ・フレイルやPADA-Dなどとてもよかったです。
- ・貴重なお話をありがとうございました。テーマは認知症の作業療法でしたが、認知症に限らず全ての作業療法に通じる考え方を学ばせていただくことができました。本日学んだことを臨床に活かしていきたいと思います。
- ・予防期から重度期までのADLの特徴を分かりやすくご講義頂き、生活行為の分析の重要性を再確認しました。
また、認知症高齢者の要介護度に伴うADL低下様式のデータは大変興味深く、介護予防事業対象者への支援についても重要性を強く感じました。

⑨今後希望する認知症関連の研修企画(具体的テーマ)があれば教えてください

- ・予防について
- ・今回と同じ認知症に関しての最新情報も行ってほしいです。また、BPSDについての評価からアプローチまでの一連の講義が聞きたいです。
- ・(身障分野で働くOTが多いことを前提で)脳血管性認知症や認知機能低下を有した方へのOTを実践している先生の話が聞きたいです。身障分野のOTは認知症に対して苦手意識があるようにも感じています。つつい身体機能訓練に行きがち印象です。